



新型コロナウイルス感染症対策を実施している建設現場等で熱中症を防ぐためのポイント
(朝礼・昼礼時等 教育用テキスト) No.142810
新旧対照表 第2版 (令和2年6月30日)

初版 (平成 28 年 6 月 17 日)			第 2 版 (令和 2 年 6 月 30 日)		
頁	箇所	内 容	頁	箇所	内 容
表紙	テキスト名	<u>建設現場等で熱中症を防ぐポイント</u> (下線右記に変更)	表紙	テキスト名	<u>新型コロナウイルス感染症対策を実施している建設現場等で熱中症を防ぐポイント</u>
目次	目次下	(右記追加)	目次	目次下	<p><u>マスクの着用について</u></p> <p><u>マスクの着用は、飛沫の拡散予防となり感染対策として有効ですが、高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがありますので、屋外で人との十分な距離(少なくとも 2m 以上)が確保できる場合には、マスクをはずすようにしましょう。</u></p> <p><u>マスクを着用する場合には、強い負荷の作業は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がけましょう。</u></p> <p><u>また、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的にはずして休憩することも必要です。</u></p> <p style="text-align: right;">アイスラリー</p>  <p style="text-align: center;"><u>シャーベット状の氷飲料</u></p> <p><u>厚生労働省「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントより</u></p>
2	左上イラスト	(イラスト修正)	2	左上イラスト	イラストの 3 人を 1 人に修正 (イラスト省略)
4	2 行目	<p><u>建設業及び警備業(ガードマン等)では、平成 27 年は 19 人が熱中症で死亡しています。</u></p> <p>(下線右記に修正)</p> <p>熱中症は 6 月から 9 月にかけて発生し、特に午後に多く発生する傾向にあります。</p> <p><u>また、作業者が暑熱作業に慣れていない作業初日と 2 日目に多発しています。(下線削除)</u></p> <p>◆ <u>時間帯別死亡災害発生状況(最近 5 年間)</u></p> <p>(下線右記に修正)</p> <p>グラフの数値、(修正)</p>	4	2 行目	<p><u>建設業では、2019 年は 10 人が熱中症で死亡しています。</u></p> <p>熱中症は 6 月から 9 月にかけて発生し、特に午後に多く発生する傾向にあります。</p> <p>◆ <u>時間帯別死亡災害発生状況(2015 ～ 2019 年計)</u></p> <p>グラフの数値、(修正 省略)</p>

初版（平成 28 年 6 月 17 日）			第 2 版（令和 2 年 6 月 30 日）		
頁	箇所	内 容	頁	箇所	内 容
6	最下段	 <p>ソルト (左写真削除)</p> <p>熱中飮 (名称を右記に修正)</p>	6	最下段	<p>塩 (ソルト) 写真削除</p> <p>熱中症対策飮</p>
7	最下段 イラスト	(右記に修正)	7	最下段 イラスト	窓を付け加え、人を 1 人に修正 (イラスト省略)
8	中イラスト	(右記に修正)	8	中イラスト	2 人を 1 人のイラストに変更 (イラスト省略)
9	写真	<p>④ 熱中症対策用品の活用</p> <p>作業服は、透湿性、通気性の良い素材のものにし、冷却グッズなども使しましょう。</p> <p>◆ 保護帽類</p>  <p>前部の汗とり用 後部の冷却用 保護帽用風扇設置例</p> <p>◆ 遮熱・冷却用タレ・キャップ ◆ 電動ファン付きウェア</p>  <p>首もとへの遮射日光をさるる 小型ファンの送風機能により背部に空気を送り、蒸化熱により体温の上昇を抑える。</p> <p>◆ 保護帽類 (写真変更)</p> <p>◆ 遮熱・冷却用タレ・キャップ</p> <p>◆ 電動ファン付きウェア (右記に変更)</p> <p>(右記追加)</p>	9	写真	<p>④ 熱中症対策用品の活用</p> <p>作業服は、透湿性、通気性の良い素材のものにし、冷却グッズなども使しましょう。</p> <p>◆ 保護帽類</p>  <p>前部の汗とり 後部の冷却</p> <p>◆ 送風機付きウェア ◆ ドライタオル</p>  <p>ウェア内の空気を循環させ、蒸化熱で身体を冷やします。 水に濡らすだけでひんやりと冷たくなります。</p> <p>◆ 保護帽類 (写真変更)</p> <p>◆ 遮熱・冷却用タレ・キャップ (削除)</p> <p>◆ 送風機付きウェア (写真変更)</p> <p>◆ ドライタオル (追加)</p>
裏表紙		 <p>本書の著作権その他一切の知的所有権は、<u>建設業労働災害防止協会：建災防（Japan Construction Occupational Safety and Health Association：JCOSHA）に帰属します。</u> <u>この本を入手した者が、当協会（建災防）の事前の許可なしに、営利を目的とするか否かを問わず、本書の全部または一部の複写、情報検索システムへの保存、電子、機械、写真による複写、録音もしくはその他いかなる形態、もしくは手段による情報の伝達により、当協会の知的所有権を侵害することは許されません。（下線削除）（右記に変更）</u></p>	裏表紙	 <p>(チェックリスト見本 HP ダウンロードご案内追加)</p>	